ごあいさつ

会長　大前　茂

理事長　春日　隆

日頃、皆さまには格別のご愛顧をいただき、厚くお礼申し上げます。「よこしんレポート2025」をお届けします。

令和6年度の日本経済は、企業業績の改善を背景に設備投資や家計の所得などは増加したものの、物価高の影響で個人消費は鈍い動きとなり、緩やかな成長にとどまりました。また、日本銀行による前年度のマイナス金利政策解除に続き、年度内に2回の政策金利引き上げが実施された結果、政策金利は0.5%と17年ぶりの水準となりました。

昨年、プロ野球・横浜DeNAベイスターズが26年ぶりに日本一となり、横浜に大きな経済効果をもたらしたことは明るいニュースでした。当金庫も日本一を記念した定期預金を発売し、盛況のうちに追加募集も含めて9日間で完売となりました。

こうした中、当金庫は、「このまちの未来をともにつくる～信用金庫の原点を忘れず、金融を超えた価値を提供し、笑顔あふれる地域づくりに貢献する～」という経営理念のもと、地域において「“選ばれ続ける”ベストパートナーバンク」になることを長期ビジョンとして掲げています。令和6年4月よりスタートさせた中期経営計画2027においては、事業者の皆さまが抱える経営課題に向き合い、資金繰り支援はもとより、中小企業の技術力や経営資源を将来に継続させ、地域の雇用確保に貢献していくため事業承継・M&Aなどの事業者支援に真摯に取り組みました。

店舗については、お客さまが快適で安全にご利用いただけるよう、建て替えやリニューアルを積極的に進めており、令和6年度は鶴見駅東口支店を、『お客さまから様々な相談をいただく場』として、来店されたお客さまに“居心地の良さ”を感じていただけるサロンのような店舗へリニューアルしました。また、令和7年度は、東京都大田区および神奈川県鎌倉市の2拠点に設置している法人営業所を店舗に昇格させることが決定しており、平成24年に開設した大和支店以来、13年振りに店舗網を拡張する予定です。今後も、店舗網を維持できるように努めながら、地域の皆さまにとって、身近で、愛される金融機関として、笑顔あふれる地域づくりに貢献していくことをお約束します。

皆さまのより一層のご支援をいただければ幸いです。

令和７年６月

経営理念

このまちの未来をともにつくる

信用金庫の原点を忘れず、金融を超えた価値を提供し、笑顔あふれる地域づくりに貢献する

「大切にしたい思い・行動」

- 広い視野を持ち、変化を恐れず積極的にチャレンジする
- 自分たちの仕事に誇りと自信を持ち、信頼される行動をとる
- 成長に向けて常に学習し、未来への責任を果たす
- 感謝を忘れず、相手の想いに真摯に向き合う
- 多様な価値観や新しい考えを尊重し、共に考動する